

「全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会」と食品ロス削減の推進に関する共同宣言をいたしました！

株式会社セブン&アイ・フードシステムズ(東京都千代田区二番町8-8 代表取締役社長 小松雅美)は、10月23日(水)食品ロスの削減を目指し、すべての都道府県を含む全国408の自治体に参加する「全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会」(会長 崎田裕子氏)と自社を含む民間企業3社と共同宣言を出しました。2019年10月1日より「食品ロス削減の推進に関する法律」が施行され、全国で食品ロス削減に向けた取組みが注目されています。共同宣言では、食べきり運動の啓発や情報発信などを連携し、取り組んでいくことを、外食産業の一企業として食品ロスの課題解決に取り組んでまいります。

『食品ロス削減の推進に関する共同宣言』

・私達は、SDGs(持続可能な開発目標)や食品ロスの削減の推進に関する法律などにに基づき、「おいしい食べ物を適量で残さず食べきる運動(食べきり運動)」をはじめとする食品ロス削減の効果的な推進を図るため、次の事項について連携・協力し、積極的に取り組んでまいります。

- 1、食べきり運動の普及・啓発に関すること
- 2、食べきり運動推進に関する取組みの企画・立案に関すること
- 3、食べきり運動推進に関する取組みの情報発信に関すること
- 4、その他食品ロス削減の推進を図るための活動に関すること



《セブン&アイ・フードシステムズでの主な取組み》

- 1、お取引先様との協働によりセンター在庫の適正化
 - ・メニュー改廃時に発生するメーカー様の食材在庫の削減に向け、販売計画の精度・向上に加え終売前倒しメニューの検討などにより、フードロスの削減につなげる。
- 2、自動発注システム導入による店舗の発注精度の向上
 - ・店舗での賞味期限切れによる食品ロスの削減に向け、入客予測、メニュー販売計画、食材へのレシピ転換、使用量を確定し自動発注するシステムの構築
- 3、フードバンクへの食材寄贈
 - ・メニュー改廃により使わなくなったメーカー様の在庫及び、店舗の在庫を回収しフードバンクを通じて、児童養護・母子支援・障害者支援等の福祉施設や子ども食堂などにお届けする。
- 4、お客様と共に「おいしい食べきり」の推進
 - ・残さず食べたお子様にスタンプ押印。4つ貯めてデニヤーズグッズプレゼント
 - ・メニューブックに「ろすのん」(※)の掲示。食べきり推進のため、少なめご飯の提案をメニューブックに記載
 - (※)「のすのん」とは農林水産省が展開する、食品ロス削減にフードチェーン全体で取り組んで行くための官民が連携した国民運動のマークです。
- 5、すでに食べきり運動の連携をしている自治体(19年10月現在)
 - ・長野県 ・千葉県 ・静岡県 ・埼玉県所沢市 ・東京都江戸川区、港区 ・神奈川県横浜市、川崎市
 - ・愛知県名古屋市 ・大阪府堺市



以上

株式会社 **セブン&アイ Food Systems** 経営企画室(広報)

〒102-8415 東京都千代田区二番町4番地5 <https://www.7andi-fs.co.jp>